

アマ奏者 穴水に集う



穴水町と白山、七尾市のアマチュア演奏家らは11日、各地の市民吹奏楽団同士の交流の一環として、同町で演奏会に臨む。吹奏楽団「穴水ウィンド

アンサンブル」の定期演奏会（北國新聞社後援）に、同楽団の一員として2楽団の有志が参加。来春には加賀地区でも同様の演奏会を開催予定で、楽団の枠を越えた演奏の輪を広げる。

定期演奏会に参加するのは、白山市の「フエスティーボWE」の13人と、七尾市の七尾吹奏楽団の4人。穴水ウィンドア

白山、七尾市のアマチュア演奏家と合同練習する穴水ウィンドアンサンブル
II 穴水町生涯現役センター体育館

11日の定期演奏会へ練習

ンサンブルと合同練習を2回行い、本番に備えている。

合同演奏による交流は、2年前に同町で開かれた長谷部まつりで、参加したフエスティーボWEの中田弘幸副団長と、穴水ウィンドアンサンブルの清水一洋代表の間で持ち上がった。今年2月には、県庁展望台で初の合同演奏会を開いた。

今回の定期演奏会は11日午後2時から、同町のとふれあい文化センターラベンダーホールで開かれる。2部構成のうち第2部で「ラブソディー・イン・ブルー」や「スパイ大作戦のテーマ」など6曲を、合同で奏でる。

清水代表は「さっくばらんに交流しながら真剣に練習し、演奏を完成に近づけることができた。ぜひ聞いてほしい」と話した。

ウィンドアンサンブル 白山、七尾からも参加